

行雲流水

No. 1 1 令和3年4月8日発行

鉄は熱いうちに打て

校長 寒河江 正人

「鉄は熱いうちに打て」

尾花沢市内の中学校に奉職した20代。当時の星川剛、尾花沢市長の「**決まり文句**」だ。

先輩から本気でギダギダと「**打って**」いただいたことは、今でも身に染みて、忘れない。尾花沢中学校では、鈴木三郎校長先生から、「**学級担任としての心得**」をご指導いただいた。

「**朝は、生徒より早く学級に行き、窓を開け、読書をして待ち、元気なあいさつで迎えろ！**」

「**帰宅前は、必ず教室を見回り、机イス等の整理整頓・ゴミ・戸締りを確認し、整えろ！**」

「**黒板には、朝登校した時に生徒がやる気や目標がもてるメッセージを書いてから帰れ！**」

校長室に呼ばれて、厳しく叱られもした。

「**むやみに生徒を放送で呼びつけるな。学級経営がちゃんとしてれば、生徒に頼めば済む！**」

「**学級経営の基本**」となる考えも教えていただいた。

「**席替えや係活動など、学級の「人事権」は学級担任がもってるんだ。生徒に迎合するな！**」

もしかしたら、こんなことを書いても、ピンとこないと言われる世代がいるかもしれない。

「**指導**」に関する世代間の認識の違いはあるかもしれないが、「**不易な価値**」は時代を越えても揺るがないと信じたいし、どうしても譲れないものが自分の中にあるのは、事実だ。

「**自らを磨くこと・学び続けること**」は、「**プロ**」であれば当たり前だと思っている。

「**新到3年、^{しんとう}皓歯^{こうし}を見せず。**」という言葉がある。

「**3年間は、白い歯を見せることなく、無我夢中で物事に取り組みなさい。**」という意味だ。どんな職業に就いても同じだろうが、新人の頃は「**基礎固め**」の時期だ。

基礎知識、基本技術を身につけるには、「**素直な気持ち**」で「**反復練習**」が必要である。

そして、ある程度、基礎が身につけてきたら、それを実践し、様々な経験で**練磨**する。

さらに、自分なりのやり方や技術を**工夫・開拓**し、自分のものにしていく。

自分のやり方が見えてくるまでの時期は、わき目も振らず、がむしゃらに取り組む。

それだけどっぴりと、のめり込まないと「**成長**」はない。

就職したら、人間は、人生において**必死に取り組む「時代」**がないと、絶対に**大成**しない。

「**鉄は熱いうちに打て**」怠けりゃ、「**なまくら**」になる。これが、私の偽らざる「**実感**」だ。

※校長だより「^{こううんりゅうすい}行雲流水」は、時には本校の教職員へ、時には生徒・保護者に向けて、発行します。（今回は、「働く姿勢」について本校教職員に向けて発行したものです。）